

第2学年 道徳学習指導案

平成26年10月8日(水) 第5校時

1 主題名 よりよい社会の実現 4－(2)

資料名 「次は清掃登山に挑戦だ」 (出典 彩の国の道徳「自分を見つめて」)

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

学習指導要領4－(2)の内容では「公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。」ことをねらいとしている。公德心は社会生活の中で守るべき正しい道としての公德を大切にすることであり、それが一人一人の日常生活の中で具体的に生かされることで、住みよい社会が実現できる。よりよい社会を実現するためには自他への配慮と深い思いやりを大切に、進んで社会とかかわろうとする態度を育てる必要がある。さらに、互いに助け合い励まし合うという社会連携への強い自覚をもたせることも肝要である。社会生活を営む上で必要とされる約束やきまりを重んじ、社会生活において互いに迷惑をかけることのないような行動の仕方を身に付けるとともに、自他への配慮と深い思いやりを大切にして、進んで社会と積極的にかかわろうとする態度を身に付けてほしいという思いから、この主題を設定した。

(2) 生徒の実態

中学2年生になり、後輩ができ先輩としての自覚が芽生え始め、行動のあり方について考える機会が多くなった。また、7月には社会福祉施設や幼稚園、企業施設などで職場体験学習を行い、働くことの意義や大変さ、楽しさを学び、少しずつ社会の一員としての自覚が芽生えつつある。そして、校内清掃ボランティアや市民祭り、東部地区運動会などのボランティア活動に積極的に参加することを通し、人のために働くことの喜びと大切さを体感してきている。これらの体験を通し、学校生活だけではなく、さまざまな地域の方とかかわる機会が増えている。自分も社会の一員であり、生活の中では互いに協力し合い、つながり合いながら生活していくことが、よりよい社会をつくるために大切であるということに気付かせることが重要である。日々の生活における他者とかかわりを通してよりよい社会の在り方について考え、その実現を目指して積極的に活動していく意欲と態度をもち生活できる生徒を育てたい。

(3) 資料の活用について

「野口健」さんは、7大陸最高峰登頂の世界最年少記録を樹立した。1つ目に生徒に考えさせたいことは、それまでは山でのごみ拾いに積極的ではなかった野口さんが、エベレストで日本の登山隊が捨てていった大量のごみや富士山にあるごみの山を目の当たりにし、自分のごみではないがそれらのごみを拾う清掃登山の実行を決意した気持ちに気付かせることである。2つ目は、清掃登山を覚悟し、第一歩を踏み出した野口さんが、多くの参加者との清掃登山を通し「周囲から言われた」から行っていた活動から「人のためにやりたい」という気持ちで活動するようになった変化を考えさせ、社会生活の中では、自分のしたいことだけではなく互いに協力したり、気持ちよく生活が送れるよう行動したりすることが大切であることに気付かせたい。

3 指導計画（他の教育活動との関連）

・行事との関連

7月には社会福祉施設や幼稚園、企業施設などで職場体験学習を行い、働くことの意義や大変さ、楽しさを学んだ。また、事業者の方に社会に出たときに求められる心構えや資質・能力など、大切なことをインタビューすることができた。

・地域との関連

夏休み中の校内清掃ボランティアや市民祭り、東部地区運動会などのボランティア活動に積極的に参加することを通し、学校生活だけではなく、さまざまな地域の方とのかかわる機会が増えている。

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

社会生活を営む上で必要とされている約束やきまりを重んじ、住みよい社会を築くために、社会の一員として互いに協力していこうとする態度を育てる。

(2) 展開

過程	学習内容と主な発問	予想される生徒の反応	○指導上の留意点 ☆評価
導 入	1. 野口健さんの写真を見せて紹介を行い、清掃登山で拾ったごみの写真を見せる。 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 山にごみが捨ててあるなんて、知らなかった。 多くのごみが捨ててある。 見たことのないごみだけでなく、見たことのあるごみも捨ててある。 	○エベレストに登ることや凍結したごみを掘り起こすことがどれほど大変なことなのかを伝え、資料への興味・関心を高める。 ☆意欲的に話し合いを進める雰囲気づくりができたか。
展 開	2. 条件・状況の確認 (3分) 3. 資料の範読・柱立て (7分) 4. 主人公の気持ちについて話し合う。 [発問①] ごみを拾おうと言われ、「なぜ他の隊の残したごみを拾わなければいけないんだ。」と言いたかった時の野口さんの心の内。 (8分)	<ul style="list-style-type: none"> 資料の内容を理解し、条件・状況を把握する。 気になるところや話し合ってみたいところ、野口健さんの気持ちが大きく動いたところを発表し、柱立てをする。 けがをして身体が痛いから休みたい（自分のことが優先、自分勝手な理由）。 掃除なんかしている余裕は自分にはない（自分の勝手な理由）。 自分が捨てたわけではないのに（自分には関係ない）。 	○「野口健さん」を主人公として考える。 ○線を引いた理由も発表させる。 ○同じようなところに線を引いた生徒もいるか聞く。 ○自分が大変なときに、人のために他の隊が残したごみを拾うどころではないという思いを共感的に捉えさせる。 ○自分の気持ちしか考えていないということに気付かせる。 ○隣同士のペアで自分の気持ちを伝え合い、クラス全体でも共有する。

過程	学習内容と主な発問	予想される生徒の反応	○指導上の留意点 ☆評価
展 開	<p>[発問②]</p> <p>そんな野口さんが「もう、やるしかないぞ。」と決意表明をしたのはなぜだろうか。</p> <p>(10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人として恥ずかしい。 ・富士山がごみの山とは知らなかった(反省)。 ・危険を冒してまで清掃登山の活動ができるのは自分しかいない(登山家としての自覚)。 ・登山家として山を綺麗にしたい(プライド、願い)。 ・「日本は、経済は一流だけど、マナーは三流だね。」と言われた(反発)。 	<p>○清掃登山という公のために働こうと第一歩を踏み出したことを捉えさせる。</p> <p>○今までの考えを覆され「人から言われたから」「自分の登山家としてのプライドを守るため」など、公のために働こうとする意思が弱かった点を押さえる。</p> <p>○円グラフで、野口さんの気持ちの変化の様子を表し、クラス全体で共有する。</p>
	<p>[発問③]</p> <p>延べ 6000 人以上の人と清掃登山を続けながら「みんなの力は偉大だ。」「人間にはしたいこととしなければならないことがある。」という野口さんは、どのようなことに気付いたのだろうか。</p> <p>(10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(みんなが愛する富士山のため)(みんなが気持ちよく登山できるため)人のために行動するって大切だし、気持ちがいい ・みんなで協力すれば大きな力になる ・多くの人が賛同して協力してくれることはありがたいし、すばらしいことだな 	<p>○6000 人以上の人と行った清掃登山は、自分たちの愛する富士山のため、登山する人のために行った。「誰かに言われて」ではなく「人の役に立つ喜びから」であることを捉えさせる。</p> <p>○ワークシートに自分の考えを記入する。</p>
	<p>【補助発問】</p> <p>「したいこと」「しなければならないこと」とは何だろう。</p> <p>【補助発問】</p> <p>清掃登山を一緒にした 6000 人の人は、どのような思いで行っていたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・したいこと →自分のやりたいこと(権利・自分本位) ・しなければならないこと →自分以外の人のことを考えて行動すること(義務・公德心) ・私たちの愛する富士山をきれいにして、みんなに気持ちよく登山してほしい。 	<p>☆社会の一員としてきまりを守り、協力していくことの大切さに気付くことができたか。</p> <p>☆主人公の気持ちの変化を十分に理解することができたか。</p>
終 末	<p>5. 3分間作文に「授業を終えて」を記入する。</p> <p>(7分)</p> <p>6. ごみのないきれいな富士山の写真を見せる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自ワークシートに新たに学んだこと、気付いたことについて記入する。 	<p>○みんなが気持ちよく生きるために、一人一人が責任を果たし、他者と協力することが大切であることに気付かせる。</p> <p>☆気付いた新たな価値観を自分の生活に生かそうとしているか。</p>

(3) 評価の観点

① 生徒の評価

- ・野口さんの気持ちに共感しながら、社会の一員としてきまりを守り、互いに協力していくことの大切さについて理解を深めることができたか。

② 教師の評価

- ・資料の提示や発問は生徒の心情に迫っていたか。
- ・ねらいとする価値観や態度に迫ることができたか。

(4) 事後指導

施設体験の活動やボランティア活動を行った生徒の感想や体験を紹介する。また、学級通信で生徒の感想を紹介する。

5 資料分析

資料名「次は清掃登山に挑戦だ」

《スタートの状況》

〈登場人物〉 主人公「野口健」 冒険家

〈状況〉

- ・ラッセル隊長（イギリス人）
- ・エベレストに登頂（7大陸世界最高峰登頂の世界最年少記録）後、清掃登山に挑戦すると記者会見で発表する。

《話題につなげたい場面》

ベースキャンプ周辺でのラッセル隊長に、ゴミ拾いをしようという提案をされる。

→

《キーワード》

- ・山にいても体力的につらい状態で、けがもしている。
- ・なぜ他の隊の残したゴミを拾わなければいけないんだ。

→

《考えさせたい心の内》

自分が大変なときに、人のために他の隊が残したゴミを拾うどころではないという野口さんの心の内。

最初はあまり乗り気でなかった野口さんが「もう、やるしかないぞ。」と決意表明したのはなぜだろうか。

→

- ・ゴミの山の食品パッケージの文字を見てがく然とした。
- ・富士山はゴミの山と言われ、自分のことのように恥ずかしくなった。

→

清掃登山という、公のために働こうと第一歩を踏み出した野口さんの心の内。

のべ6000人以上の人と清掃登山を続けながら「みんなの力は偉大だ。」「人間にはしたいことがある。」と記者会見をする。

→

- ・今では、富士山の五合目から上にはゴミは捨てられてはいない。

→

「誰かに言われて」ではなく「人の役に立つ喜びから」で清掃登山を続ける野口さんの心の変化。

次は清掃登山に挑戦だ

主人公 野口健 (冒険家)

野口健
さんの
写真

清掃登山
の様子

清掃登山
で拾った
ごみ

① ごみを拾おうと言われ、「なぜ他の隊の残したごみを拾わなければいけないんだ。」と言いたかった時の野口さんの心。
・ けがをして身体が痛いから休みたい
・ 掃除なんかしている余裕は自分にはない
・ 自分が捨てたわけではないのに

自分の気持ちが中心

② そんな野口さんが「もう、やるしかないぞ。」と決意表明をしたのはなぜだろうか。

日本人・登山家としての決意

・ 日本人として恥ずかしい
・ 富士山がごみの山とは知らなかった
・ 危険を冒してまで清掃登山の活動ができるのは自分しかない
・ 登山家として山を綺麗にしたい
・ 「日本は、経済は一流だけど、マナーは三流だね。」と言われた

③ のべ6000人以上の人と清掃登山を続けながら「みんなの力は偉大だ。」
「人間にはしたいこととしなければならないことがある。」という野口さんは、どのようなことに気づいたのだろうか。
・ 人のために行動するって大切だし、気持ちがいい
・ みんなで協力すれば大きな力になる
・ 多くの人が賛同して協力してくれることはありがたいし、すばらしいことだな。

綺麗な
富士山の
写真

人の役に立つ喜び